

令和6年度 すくわくプログラム 活動報告書

とちの木保育園

五感を使ったアート

設定理由：子ども達の感性を様々な技法で表現するため

活動のねらい：「ものを知る」「感じる」「表現する」を目的として、自分の思いを感じたままのびのびと表現する。

対象クラス：5歳児クラス12名

スケジュール：令和6年4月～令和7年3月（計12回）

飛ぶ人（立体）

もし空が飛べたら？自分が飛んでいる姿を作ろう！

- 今日は『人物クロッキー』に挑戦します。これまでは見えないものを描きましたが、今日は見えるものを描きますよ。
- 1人が台に乗ってモデルになってもらいます。正面から見ると顔もお腹も見えますが、向きを変えると背中しか見えませんね。
- 頭、体、腕、足の形を素早く描きます。表情や洋服などは描かなくても良いですよ。
- 「描けた！」「こんな風になったよ」ポーズによってすぐに描けたり描きにくかったりしますね。みなさんポーズの特徴を捉えて描いていました。



今度は、自分が空を飛ぶ姿を想像します。

- 空を飛ぶものはいろいろありますね。どんなものがありますか？
「ひこうき」「ヘリコプター！」「ワシ」「とり！」「ウルトラマン！」「トンボ」「チョウチョ」「忍者！」
- それぞれ飛び方が違いますね。自分だったら、どんな風に飛びたいですか？ポーズで表現しましょう。
- 両手を広げたり、寝そべってみたり。自分が想像する飛ぶポーズを取りました。



2024年9月10日

自分が飛ぶ姿を粘土で作ります。

- 粘土で飛ぶ姿を作ります。でも粘土だけではすぐに倒れてしまいます。そこで、針金で作った人の人形を使います。
- 粘土で肉付けをしましょう。粘土を3つに分けて、お団子を作ります。2つにくぼみを作り、好きな色の絵の具を入れてこねていくと、粘土にだんだん色がついてきました！

「黄色になった！」「もっと赤くしたいな～」



- 針金の人形に粘土をつけ、針金が見えなくなるように肉付けしていきます。
- 針金を曲げて、飛ぶポーズを作ったら完成！木の土台に乗せて仕上げました。





ウルトラマンをイメージして、手をグッと突き出したポーズを作りました。夕焼け空を飛んでいるような、優しいオレンジ色をしています。



両手両足、目線もピシッと決めてポーズ！大好きなカッコいいポーズを粘土で再現しました。大きく足を広げて、勢いよく飛んでいるようです。



飛行機のように手を大きく広げて、優雅に飛んでいます。体の色は、空の青？海の青？自然に溶け込んでいきそうですね。



両手をグーッと伸ばしてのびのびと飛んでいます。青と黄色の組み合わせで、元気な印象を受けますね。



柔軟な体を大きく広げて、海の上を飛んでいます。海面にはカジキが顔をのぞかせています。飛んでいるところを見守ってくれているのかな？



雲のようにフワフワと空を飛んでいるよう。高い空の上から、街を見下ろしているようですね。



手を高く上げて空を飛ぶ様子を作りました！赤と白のコントラストがとても綺麗。青色は「落ちても痛くないように」つけた防具です。



粘土を少しずつ混ぜて、鮮やかなマゼラン模様を作りました。体全体に伝わってきます。体を作るだけでなく、大きな帽子も被せました。



振り上げた手に力強さがありますね。楽しそうな様子が表情からも伝わってきます。体を作るだけでなく、大きな帽子も被せました。



お友達と作ったポーズを参考に、空飛ぶ姿を作りました。粘土を混ぜたりして、お洒落な人に仕上げました。

活動内容

- 4 月 大空を泳ぐこいのぼり
- 5 月 川の流れのペンスタンド（立体）
- 6 月 スタンピングで描く紫陽花
- 7 月 鯨の量感画
- 9 月 飛ぶ人（立体）
- 10月 かぼちゃの新聞工作（立体）
- 11月 銅板の枯れ葉
- 12月 ランプシェード（平面立体仕上）
- 1 月 雪化粧する樹木
- 2 月 鬼の顔（立体）
- 3 月 自画像

振り返り

・年間通して臨床美術士の方と一緒に色々な画材や技法を使って平面や立体を創っていった。きれいに描く、上手に描くことが目的ではなく、「ものを知る」「感じる」「表現する」ことに重点をおき、子ども達は、うれしい、楽しい気持ちを作品の中でのびのび表現していた。においを嗅ぐ、触ってみる、食べてみる、音を聴くなど五感を使って、自分が感じたままに表現することに、始めは戸惑いがあった子もいたが、だんだんとありのままの自分の表現をするようになり、子どもの想像力・創造力が磨かれていった。また、作品について友だちや臨床美術士の方、保育士、保護者に自分の作品を認められることで自己肯定力とお互いを認め合う環境ができていった。